

園長より
11月



ちゅうぶっ子

R 5. 11. 10 発行

発行者

出雲市立中部幼稚園

園長 高橋 均

今年の冬は暖冬の予報が出ていますが、さすがに11月も10日を過ぎる頃になると、朝夕の冷え込みも厳しく感じられるようになってきました。今年はインフルエンザの流行が早まっているようですので、うがい手洗い等を徹底して、健康管理に気を付けていきたいと思えます。

さわやかな秋晴れの日に秋の遠足にでかけました

Excursao de outono

10月11日に秋の遠足にでかけました。年少児と年中児は、バスで出雲市駅まで行き、そこから電車に乗って神西駅まで行き、歩いて後藤総合車両所（電車基地）へ到着しました。電車の乗車体験が初めての子もいて、ドキドキワクワクして目を輝かせていました。電車基地では、屋上から線路や電車を見たり、「特急やくも」の運転席に座らせてもらったりして、みんな大喜びでした。



年長児は、バスで出雲縁結び空港に行きました。FDA機の近くで写真を撮ったり、化学消防車に乗って放水の様子を見せてもらったり、防災用ヘリコプターの訓練の様子を見せてもらったりと、貴重な体験をたくさんすることができました。その後は空港公園に移動して、青空の下でお弁当を食べました。絶好の遠足日和に恵まれ、思い出に残る楽しい一日となりました。



自分もひとでも大事にできる子に

Ser uma criança que valorize o proximo e a si mesmo

今年度と来年度の二年間、直江地区が出雲市の同和教育研究指定事業の指定を受けておられるので、中部幼稚園も地域の皆さんと一緒に同和教育、人権教育を進めているところです。

もちろん、中部幼稚園ではこれまでも一人ひとりを大切にする保育を実践してきていますが、この機会に今一度、同和教育や人権教育の視点から各活動を見直して、さらに充実させていきたいと考えています。

中部幼稚園は今日現在、全園児43名中9名の外国につながる園児が在籍しており、この点が本園の特徴の一つとなっています。我々はこの環境をプラスに捉え、一緒に生活していく中で互いの良さを見つけられる子、互いの違いを認め合うことができる子、一緒に力を合わせて仲良くできる子など、一人一人に人権意識の芽をじっくりと育てていきたいと思えます。小さい幼稚園の時期だからこそ、偏見なく、自然な関わりができるという利点を生かして、職員一同力を合わせ、保育に取り組んでいきたいと考えています。



<研究保育の様子> <職員による研究協議> <あいさつ当番活動>

令和6年度園児募集！入園をお待ちしています！！

Matriculas para o ano 2024! Estaremos aguardando !

◎対象園児

年長5歳児（平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ）

年中4歳児（平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれ）

年少3歳児（令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれ）

◎申込期間

令和5年11月15日（水）～12月1日（金）

◎申込先

中部幼稚園へ直接お申し出ください。

* 12月1日以降でも人数に余裕があれば入園可能です。遠慮なく、お問合せください。お一人でも多くの子供さんのご入園を、心よりお待ちしております。

